

◇ 4月の代祷・信施奉献先

礼拝堂臨時チャペル

▽エルサレム教区のため(受

奏楽・浅井寛子

苦日 10日) ▽つきしまキッ

は中止となりました。

ズデイ ▽児童養護施設のため

▽月島聖ルカ保育園のため

「聖パウロ教会ランチタイム

◇ 「主教司式の聖餐式」主教

日時：4月3日(金) 12時20

座聖堂のホームページアドレ

分〜50分

ス

場所：聖パウロ教会

https://catyo-news.

演奏：岩崎真実子

blogspot.com/p/euvideo.

は中止となりました。

html

「信徒奉事者任命・祝福式中

◇ 「自宅で行う主日礼拝」主

止のお知らせ」

教座聖堂のホームページアド

4月4日(土) 午後に予定

レス

しております、信徒奉事者

https://catyo-news.

任命・祝福式は中止すること

blogspot.com/p/mikotoba.

となりました。

html

【新型コロナウイルス感染症

【礼拝、プログラム 開催

患者のため・医療看護に携

延期・中止のお知らせ】

わっている方々のため】

「聖ルカ礼拝堂タの祈り中止

世の救い主よ、主は十字架

のお知らせ】

の苦しみによってわたしたち

日時：4月1日(水) 18時30分

を贖われました。どうか、わ

場所：聖路加国際大学聖ルカ

たしたち、ことにこの度の新

型コロナウイルス感染症の苦し、主の聖徒とともに永遠の

しみ、不安の内にある人々を み国で安らかに憩わせてくだ

救い、癒しのみ手を差し伸べ さい。また、悲しみの中にあ

てください。また、医療と看 する方々に主の慰めが与えられ

護に携わる人びとの働きを助 ますように、命の贖い主であ

け導き、み力をもってその人 られる主イエス・キリストに

びとを守り、励ましてくださ によってお願いいたします

い。主イエス・キリストによっ

てお願いいたします

アーメン

主よ、世を去った人びとの

魂が、主の憐れみによって安

らかに憩うことができますよ

うに

アーメン

【新型コロナウイルス感染症

によって亡くなられた方々の

ため】

永遠にいます全能の神よ、

新型コロナウイルス感染症に

よって尊い命を失った方々の

魂をすべての重荷から解放

今週・来週の予定

3月29日～4月11日

29 (日) 大斎節第5主日

4月

5 (日) 復活前主日

9 (木) 聖木曜日

司祭按手約束の更新

聖香油聖別

(非公開)

聖餐制定記念・洗足式

(非公開)

10 (金) 聖金曜日

受苦日礼拝 (非公開)

11 (土) 聖土曜日

復活日前夕 (非公開)

(聖なる3日間の礼拝の様子は

インターネット配信されます)

【主教教書】

3月30日以降の礼拝（公禱）
について休止継続の通達

2020年3月25日

東京教区主教

フランシスコ・ザビエル

高橋 宏幸

3月4日付の「新型コロナウイルス感染症対応のお願い」第四信にて、「3月8日（大齋節第二主日）～29日（大齋節第五主日）まで礼拝（公禱）を休止する」旨をお伝え致しました。その後、3月19日に政府専門家会議から見解が出されました。加えまして、

1 感染リスクが高いとされている、公共交通機関利用への対策が教会として十分に取られていることについて

2 東京教区が大原則とした「人びとのいのちを守る」と「教会としての社会的責任を果たすこと」への

対応が十分になされていることについて

3 このような状況の中、教会に人が集中して集まることへの危惧は払拭できない

4 示唆されている予防のための諸条件をすべてクリアしての礼拝執行に徹することには困難がある

5 東京という人の動きや移動の極めて多い大都市において、感染源が特定できないことに因る感染増加の中、感染リスクがある信徒の方々がたへの教会の十全な対応が困難である

等の角度から、常置委員会、聖職会、教区事務所主事会等での話し合いも重ね、東京教区としましては、厳しい苦渋の決断ではありますが、

公的機関からの情報等を基に、今後の方針が定まる迄
3月29日（大齋節第五主日）

以降の公開の礼拝（公禱）の
休止を継続すること

と致しましたので、お知らせ
致します。

これに伴い、以下の点をお伝え致します。

・教会運営に支障のない限り、
種々の会合は自粛を要請致します

・但し、礼拝堂への来訪者のために礼拝堂の扉を開け開放していることは構いません
・教役者、または家族、信徒、
関係者に感染者が確認された場合は、速やかに教役者に伝え、教役者は教区事務所総主事（下条司祭）に報告し、活動を自粛して下さい

聖週、イースターと、殊に大切な時に一堂に会しての礼拝を捧げることができない辛さと悲しみには計り知れないものがありますが、各々の場所

での祈りはキリストの教会と
全世界のための祈りであり、
信仰の業でもあります。
悲しみの内にある方々への
慰め、この危機の収束を切
にお祈り致します。

このような時であるからこそ
一層、主イエスのご復活された「最初のイースター」、そして、「洗礼の原点・信仰生活の原点」に思いを馳せ、
黙想の時といたく願います。

今後も、聖アンデレ主教聖堂のホームページを通して、「自宅で行なう主日礼拝」をはじめとして、情報提供をしてまいります。共に祈り合うことによる連帯と信頼の中に、主が共におられることを
強く強く信じます。

感染症に罹った方々の一日も早い回復と医療従事者のお働き、生活上の不安、困難を余儀なくされている方々への支え、そしてご逝去された方々の魂の平安と